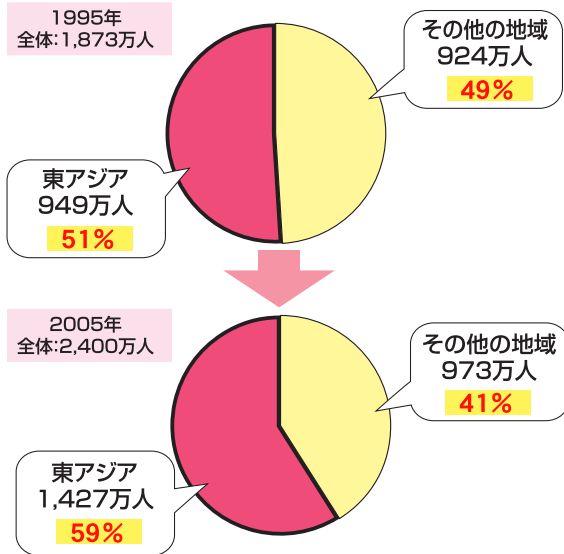


身近な東アジア (韓国・中国・台湾・香港・*ASEAN諸国)

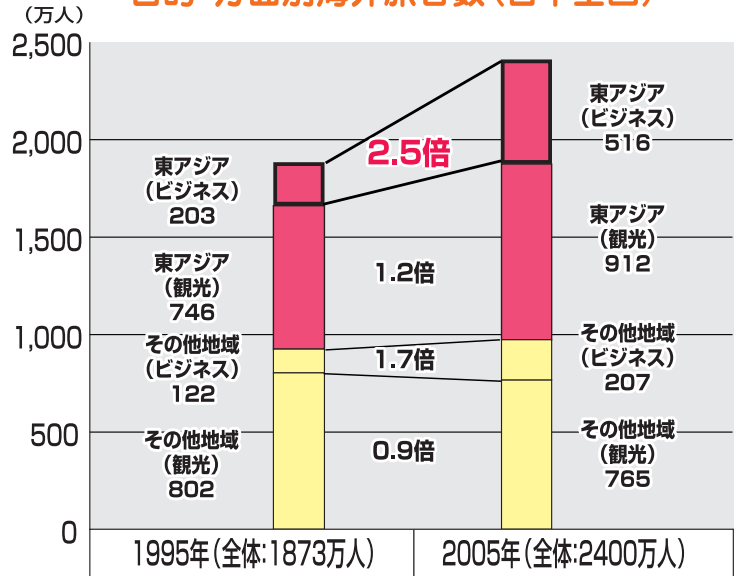
東アジアへのアクセスが身近なものになっています。観光を楽しむことはもちろんですが、最近では、ビジネス目的の移動も増えており、日常生活の中で、東アジアとの結びつきが強くなっています。

方面別海外旅客数 (日本全国)



東アジアが10年間で約**1.5倍**に増加!!!

目的・方面別海外旅客数 (日本全国)

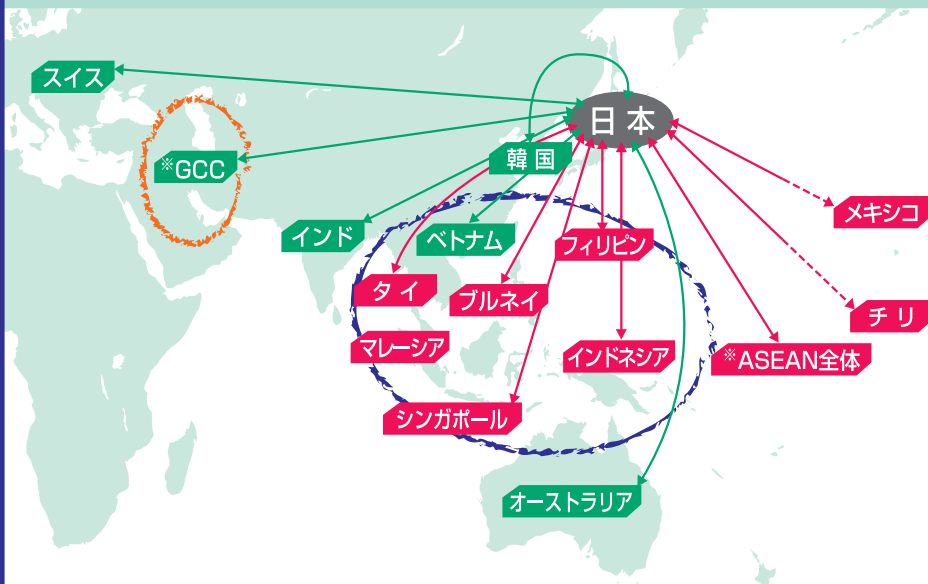


東アジアへビジネス目的が10年間で約**2.5倍**に増加!!!

(出典) 国土交通省交通政策審議会資料等を基に横浜市作成

東アジアとの関係をより強化 (EPAの推進)

現在、国では、東アジアを中心として、EPA(経済連携協定)の締結を推進しています。締結後は、人・もの・情報の移動の自由化、ビジネス環境整備、協力体制の強化などが図られ、さらなる関係強化及び経済発展が期待されています。



*ASEAN: インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア
 *GCC: サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート、オマーン、バーレーン、カタール

(出典) 外務省HP資料を基に横浜市作成 (平成 20年 8月)

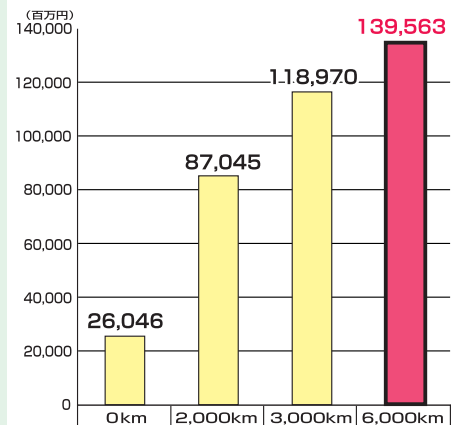
COLUMN

「真の国際化」が実現すると...

羽田空港国際化に伴う横浜市への経済波及効果

本市が実施した経済波及効果の測定結果です。国際定期便の就航範囲を本市が提案している「ASEAN諸国を含む東アジアの主要都市をカバー (概ね6,000km圏) した場合の経済効果が高く、本市にとっても真の国際化実現が期待されています。

経済波及効果



*国土交通省調査を参考に平成18年横浜市調査 (この数値には、人や物の移動が含まれています。)